

平成24年11月29日  
JR北海道文化財団  
JR北海道函館支社

## JR北海道所蔵絵画展《古き道南を中心に描く》の開催について

JR北海道が所蔵している絵画をたくさんの方々に鑑賞していただきたいとの思いから、下記により絵画展を開催します。

国鉄時代から所蔵している油彩画から地元出身画家3名の古き道南を中心に描いた郷土色豊かな作品を函館で初めて展示いたします。

### 記

日 時:平成24年11月30日(金)～平成25年1月8日(火)(期間中無休)  
:午前10:00～午後17:30

会 場:函館駅2階多目的ホール(イカすホール)

主 催:一般財団法人 JR北海道文化財団



(参考)



田辺 三重松(たなべ・みえまつ)1897年～1971年 函館生まれ

函館商業学校在学中から絵画に興味を深めて、函館で最初の組織的な美術団体である赤光社(1921年)の結成に参加。

翌年には北海道美術協会展(道展)の創立に加わる。

また二科会展(1923年)には初入選を果たし、同会会員(1943年)になる。

戦後は行動美術協会と全道美術協会(全道展)の創立に参画。

大胆な色彩と力強い画風は昭和の代表的な風景画家として称賛される。

「生誕100年記念 田辺 三重松展」(1996年)が開催された。

池谷 寅一(いけがや・とらかず)1902年～1983年 (旧)亀田郡恵山生まれ

幼少期を岩手で過ごすが再び函館にもどり、18歳で国鉄に就職(1920年)働きながらも近代洋画への感心を持ち、油絵の制作に励み、赤光社(1921年)の結成にも参加。

1925年北海道美術協会(道展)の創立会員となる。

1927年から春陽会に出品、一水会(1939年)に転じ会員に(1946年)

戦後は全道美術協会(全道展)の創立に加わる。

以後一水会、全道展を中心に活躍。

函館風景をのびやかなタッチと明るい色彩で表現した。

伊藤 信夫(いとう・しのぶ)1907年～1957年 函館生まれ

田辺三重松の影響を受けて、函館商業学校の絵画グループで活動、在学中から赤光社展に出品。

卒業後国鉄に勤めながら制作を続け、北海道美術協会会員(1934年)二科展会友(1942年)となる。

戦後は全道美術協会会員(全道展)の創立に参加。行動美術協会会員(1947年)となる。

おだやかな写実眼で風景画や人物画を多く描いた。